

# はにわ通信

No.201 平成23(2011)年12月号

財界で活躍後、全財産を投じて慈善事業を行なった原田二郎さん。生家の武家屋敷は来年公開予定だよ。



武家屋敷・原田二郎旧宅の庭園発掘調査結果です！



殿町にある原田二郎旧宅では、建物部分の修理と庭園整備にともなう発掘調査が行なわれてきました。今回は、今年8月～9月に行なわれた庭園の発掘調査の結果を紹介します。

松阪の武家屋敷の姿をよく残す旧宅は、松坂城下町遺跡の上にあります。調査では、城下町側の堀の岸と考えられる落ち込みの跡が初めて発見され、これにより、松坂城の堀の位置が、これまでの推定より約8.5メートルも東側にあることになりました。この発見は、松坂城や城下町を研究する上で非常に重要なものです。



また、調査では、水の流れを表現している石敷が発見されたほか、江戸末期のカエルの土人形などが堀跡から出土しました。



このように、遺跡内にある場所を整備したりするときには、遺跡の跡が壊れてしまうことがあるため、発掘調査をして遺跡の記録をとることが文化財センターの大切な仕事のひとつです。

旧宅は、来年秋に一般公開予定です。お楽しみに！  
(担当)

## 原田二郎さん(1849～1930)を知っていますか？

江戸時代末に、松阪・殿町で武士の息子として生まれました。東京で、英語と医学を学んだ後、大蔵省へ入省し、31歳の若さで横浜第七十四銀行の頭取になります。その後、大阪鴻池家の再建をなしとげるなど財界で活躍しました。

そして、1920年に全財産1020万円(現在の価値で150億円ほど)を投じて日本最初の公益財団「原田積善会」を設立、82歳で亡くなるまで幅広い慈善活動を行ないました。



原田二郎(大正13年 東京・麻布にて)

## 【歳暮】

としのくれ  
除夜の作 高適

りょかん かんとう ひと ねむ  
旅館の寒燈 獨り 眠らず。  
かくしん なにごと うたた せいぜん  
客心 何事ぞ 轉 悽然。  
こきょう こんや せんり  
故郷 今夜 千里を思う。  
そうびん みょうちょう また いちねん  
霜鬢 明朝 又 一年。



(一年の最終日、おみそかに旅寝するわたしは、宿のわびしいとしびの下、ひとり眠れないままにすごしている。旅人の心はどうしてこのようにいっそうさびしきを感じるのでしょうか。ふるさとの家族たちは、おみそかの今夜、遠い土地を旅しているわたしのことを思ってくれているだろう。

【遠くはなれた旅先からはるばるふるさとをしのんでとも】明日の朝、元旦になれば、しらが頭のわたしはまたひとつ歳をとることになるのだ。)

歳もおしつまり、ことしも残すところわずかになりました。

文化財センターでは、はにわ館、ギャラリーとも盛況のうちに平成23年の暮れをむかえることができました。これもひとえにみなさまのおかげと職員一同感謝しております。

ことは、現在の松阪につながる基礎をきずいた、蒲生氏郷の功績をたたえておこなわれる「氏郷まつり」が50周年、さらに、松坂城跡の国史跡指定など松阪にとって節目の時期でありました。はにわ館で開催中の特別展「氏郷の遺したもの」は、11月始めですでに1,000名をこえるみなさまにおいでいただきました。

年明けからは、松阪地域の「はにわ」についての企画展を予定していますので、来年もひきつづき文化財センターをよろしく願いいたします。

みなさま方におかれましてはどうかよいお年をお迎えください。

高適 盛唐(713～766)時代の詩人  
(所長)

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 12月の催し物予定

月曜日と年末年始(12月26日～1月3日)は休館。開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■特別展「氏郷の遺したもの」10/9(日)～12/4(日)



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)

【ギャラリー】 入場無料

第2G ■深雪アートフラワー山口智子教室展 11/30(水)～12/4(日) \*毎日10:00から

第1G ■ふるさとスケッチ『風の会』展 12/1(木)～12/4(日) \*4日は16:00まで

第2G ■第4回こどもハニワ展 12/10(土)～12/18(日) \*毎日10:00から16:00まで

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>